

令和元度 山城地方

「育ちと学びをつなぐ」連携会議を開催

令和元年6月6日(木) 京都府田辺総合庁舎 講堂

山城地方小学校校長会長、山城地方市町村保育所(園)・こども園担当課職員、山城地方市町(広域連合)教育委員会担当指導主事、京都府私立幼稚園連盟城南地区理事、京都府保育協会役員の皆様にご参加いただき、山城管内の幼児教育施設と小学校における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた円滑な接続を目指し、各関係機関との連携を図ることを目的として開催しました。

開会挨拶



趣旨説明



趣旨説明「幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続のために」

新小学校学習指導要領、幼児教育施設の新要領・指針の改訂の趣旨、接続期の教育の重要性に触れ、円滑な接続を目指して「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を幼児教育に携わる保育士・教諭と小学校教諭とで互いに共有し合うことの必要性についてお話いたしました。

実践報告

京田辺市教育委員会 北村 忠浩 様 芹井 利子 様
精華町教育委員会 尾崎 万佐子 様
ひいらぎこども園 中田 純子 様



行政として…
私立こども園として…
それぞれのお立場からこれまで取り組んでこられたことをご報告いただきました。



グループ別交流

「円滑な幼小接続のための取組について
～昨年度の実践と今年度の方向性～」



接続カリキュラムや「もうすぐ一年生」事業、合同研修会、幼児・児童の交流、職員間の連携等、さまざまな視点から今後のためのヒントがたくさん得られました。

同じ地域や近隣の地域で構成されたグループで、幼小接続にかかわる取組等について活発な交流が行われました。また、幼小接続を進めるうえでの課題や改善策等についても語られました。